

根来山げんきの森倶楽部

令和3年12月作業日誌



冬の寒さが厳しい日が続きますが、皆さん体調はいかがでしょう。昨年最後の活動日はアラレが降る中、53人も倶楽部員の皆さんが木材の運搬や樹々の整備にと力を注いでくれました。

活動日：令和3年12月19日 9:30～15:30 天気：アラレ 倶楽部員：53名

カシノナガキクイムシ被害木の処理

バリアフリー沿いにあるカシノナガキクイムシの被害木の伐採作業を行いました。O氏がロープを使わない、ツリークライミング方式ではなく、足に爪を装着し幹に短いロープを掛け、それらを駆使して幹をよじ登っていく方式で12mほど幹の股のところまで上っていく様子にはハラハラドキドキでした。安全確保出来るロープを掛けるまでは油断出来ない状態だからです。安全確保出来たところで何本かの横に張り出している太い幹を切り落とすわけですが、歩道沿いなのでそのまま切り落としてしまうと柵を壊しかねません。ということで切り落とす幹にロープを掛け、切り落としても落ちないように吊り下がるようにしました。降ろした幹はみんなで細かくして炭に出来そうなものは120cmに切り分け、太すぎるものは薪用にと分けていきます。



午前中は歩道より谷側の木を一本、午後からは山側の木を倒しました。午後からは若い新人さんも見事に倒したい方向に倒すことが出来ました。歩道沿いなので人の通行にも気を配ってくれた倶楽部員さんがいて助かりました。作業することばかりに集中してしまっ、お客様の安全を確保することを忘れがちですが、一番大切なことです。みんなで力を合わせてそれぞれの役割分担が自然と出来ることは素晴らしいことだと思います。今後も安全第一、怪我のないように作業しましょう。(岩田 禎子)

橋修復用部材の運搬



今日の作業は歩道にかかる橋の修復用部材を、橋のそばまで運搬する作業です。その橋はスカイラインのO地点のすぐ近くにありま。かなり傷んできています(写真左)。この橋の修復計画は以前から進んでいて、部材用の木の伐採、製材、防腐剤の塗布など修復用部材の準備はできています。準備された部材はヒノキの踏み板約50枚、角材10本、太い角材2本、土のう約10袋(1袋20～30kg)です。運搬方法はいろいろ検討された結果、林道土仏線のO地点の近くまで軽トラで運び、そこからO地点に通じる尾根まで坂を約50メートル荷揚げして、尾根伝いにO地点へ約100メートル運ぶというものでした。

林道から尾根までの坂はロープがないと登るのがたいへんな急斜面です。そんな急斜面を部材をかついで登るのは無理なので、林内作業車の力を借りることになりました。林内作業車は強力なワイヤーのウインチを備えたキャタピラー走行の作業車です。大きな丸太を引っ張ったり載せて運搬できる力持ちです。林道上のこの林内作業車からワイヤーを伸ばし、尾根の木に付けた滑車を通して、林道から尾根に部材を引っ張り上げることになりました。引っ張り上げるルートも部材が引っ掛からないように一直線に整備済みです。(写真次頁)

今日の作業の参加人数は15人。それぞれ作業を分担してアラレが降る極寒の中、作業が始まりました。林内

作業車のワイヤーの巻き取り操作をする人、荷揚げ部材を適当な重さになるように集めてワイヤーをかける人、坂道を引っ張り上げられていく部材が途中で引っかからないように坂道上でフォローする人、尾根まで引っ張り上げられた部材をほどく人、部材を一輪車に乗せて橋のそばまで運ぶ人。最初はワイヤーをかける部材がうまくまとまらなかったりしましたが、試行錯誤しながら安定した作業ができるようになっていきました。

今回、橋の修復用部材に加えてベンチ(2台)も荷揚げしました。スカイライン上に配置予定ということでした。後日 Y さんがかついでスカイライン上に配置されたそうです。荷揚げ、運搬作業は午後までかかりましたが、作業に慣れてきたなと思った頃に完了となりました。途中、ワイヤーから外れた大きな容器が坂道をころげ落ちる危険な場面もありましたが、なんとか無事に終わりました。この後の橋の修復作業は来年行なわれることとなります。皆さんお疲れ様でした。(堀田 正二)



うるし谷の樹々を整備

雪になるかと心配していましたが晴れてくれたので谷の斜面の樹を整備する作業にかかりました。午前中は9人で午後は6人でした。太いものはHさんがロープをかけて引き、Nさんがチェーンソーで絶妙なバランスを取りながら整備し、ほかのメンバーは鋸や鉋、大きな剪定鋏などで始末していきました。枝が張った樹で、斜面の裾に植樹された苗を折らない様にかわしながらの作業でした。成果は太めの樹を6本と周りの細い立木等で、片付けると芭蕉の樹が現れたり稜線の形

が見えるなどしてすっきりしました。休憩時間に皆さんと談笑していた際に私に報告のお鉢が回ってきました。先月新人紹介で挨拶させてもらったならTVにも映っており、今回は報告デビューとなりました。はてと思っていると帰り際にSさんとNさんが今日伐ったのは赤芽かしわという樹で、春に出る赤い葉っぱを紙や木の上で叩くと赤い葉脈の模様がうつるとか、繁殖力が強くて茂るので伐採して空間を守る必要があることを教えていただきました。午後は雨あしが強くなりそうで早めの解散となりました。(西原 充幸)



炭出しと袋詰め

炭焼き班の炭出しに参加させていただきました。釜の入り口を壊すところから見たのですが初めての経験で面白かったです。メンバーは13人、炭は200kg出来上がり、炭焼き常連さん達が思ったよりたくさんできた喜んでいらっやいました。

①火が消えて冷めた釜の入り口を壊す→②壊したときに出る土は次回蓋をするときに使うので大切に残す→③入り口のレンガを取り払い、入り口ができる。中には炭が出来上がっています！→④一人が釜の中に入って出来上がった炭を入り口の外の人に渡してコンテナに入れる。次々に空のコンテナを用意して、いっぱいになったコンテナを炭を切るグループのところへ運ぶ→⑤炭を使いやすい大きさにノギリで切る→⑥小さく切った炭を袋に入れ、重さを量る。定量になれば紐をかけて完成

数日後、炭の出来具合を確認するために焼肉をしたのですが、私は都合がつかず残念でした！(萬賀 伊津子)

去年は理事の顔触れが何人か変わったり炭焼き班が再生されるなど、新しい倶楽部員の活躍する場が少し目立ってきたように感じます。

でも、運営会やボラパイターなど基本的な部分はベテラン倶楽部員のみなさんに頼ることがほとんどです。

今年は少しずつでもいいので、新しい倶楽部員のみなさんの活躍できる場がどんどん広がってくるといいな。

今年もみんなで楽しく活動していきましょう。(岡田 和久)